

対象年齢の方へ 夏休み中に受けましょう！

麻しん・風しんワクチン

しかし（麻しん）は、ウイルスによって空気感染する急性の発しん性疾患です。合併症で重症化することや、最悪の場合は死亡するケースもあります。治療法はなく、予防接種が一番の予防方法です。

風しんは今年度、感染者が増えています。学校の夏季休暇が始まるなど人の往来が増えることで感染増加の恐れがありますので、かかりつけ医に相談し、早めに受けましょう。

▼対象者

- ・小学校就学前の1年間（幼稚園・保育所の年長にあたる／平成18年4月2日～平成19年4月1日生）
 - ・中学1年生（平成11年4月2日～平成12年4月1日生）
 - ・高校3年生（平成6年4月2日～平成7年4月1日生）
- ※高校3年生のうち、平成23年度中に修学旅行等で

海外渡航をするために予防接種をした方は接種対象外

○対象年齢の未接種者で私立中学校に通学している方、高校3年生の未接種者で4月に送付した予防票をお持ちでない方は、市内協力医療機関一覧と予診票を渡しますので、保健センターまでご連絡ください。

○既に接種済みの方は重複接種されないよう、くれぐれもご注意ください（万が一、重複接種された場合、重複接種分の費用は全額自己負担）。

▼接種期間 平成25年3月31日（日）まで（期間を過ぎると全額自己負担）

▼接種料金 無料
※市内協力医療機関で接種した場合

▼接種回数 1回

▼持ち物 母子健康手帳または予防接種カード、保険証、予診票

子宮頸がん予防ワクチン

接種を希望する方は、「夏休み中」に
初回接種を始めましょう。

市では、中学1年～高校1年生の女子を対象に、子宮頸がん予防ワクチンの接種費用を助成しています。

平成24年度の助成期間内（平成25年3月31日まで）に3回の接種を完了するためには、1回目を9月30日までに接種する必要があります。体調や家庭の事情、学校行事等で、予定どおり接種ができない場合もありますので、接種を考えている方は早めに1回目の接種をすることをお勧めします。

なお、全額自己負担で接種すると、医療機関によっては、3回の接種で5万円程度かかる場合があります。

この予防接種は任意の予防接種であり、必ず受けなければならないものではありません。接種を希望する方は、予防効果や副反応について、十分にご理解の上、接種するようお願いいたします。

▼対象者 中学1年～高校

○任意予防接種費用助成事業について

HP <http://www.city.moriya.ibaraki.jp/section/0330/6-wakuin.html>

1年生に相当する年齢の女子（平成8年4月2日～平成12年4月1日生）

○既に接種がお済みの方は重複接種されないよう、くれぐれもご注意ください（万が一、重複接種された場合、重複接種分の費用は全額自己負担）

▼助成期間 平成25年3月31日（日）まで（平成25年4月1日以降の公費助成については未定）

▼接種料金 無料
※市内協力医療機関で接種した場合

▼接種回数・時期 左表のとおり

○子宮頸がん予防ワクチンは2種類あります。どちら

らのワクチンも子宮頸がんを予防する効果があり、6か月間に3回の接種が必要です。ただし、途中でワクチンを変更することはできません。接種の際には医療機関で相談の上、ワクチンを選んで接種してください。

▼接種場所 市内協力医療機関（協力医療機関一覧は保健センターホームページに掲載）

※予約の上、接種する協力医療機関で接種できない場合は保健センターにお問い合わせください。

▼持ち物 母子健康手帳または予防接種カード、保険証、予診票

ワクチン（商品名）		1回目	2回目	3回目
2価ワクチン（サーバリックス）	初回	初回から1か月後	初回から6か月後	
4価ワクチン（ガーダシル）	初回	初回から2か月後	初回から6か月後	